

健康な歯で元気におしごとを！

社会福祉法人にじの会 未来工房にじ

三鷹市



【施設の概要】

未来工房にじは、社会福祉法人にじの会が運営する就労継続支援B型施設です。平成15年に設立され、知的障害の方たちがお仕事をしています。設立趣旨は「住み慣れた地域の中で障害者が働く場と生活の場を」です。

利用者の定員は30名です。職員数は常勤8名のほか、非常勤職員が数名勤務しています。

未来工房にじの生産活動については、パン工房では、パン、マフィン、クッキーを作っています。食品加工工房では、季節のジャムをはじめ、給食のデザート、おやつを作っています。織工房では、裂き織り、平織りの製品を作っています。喫茶・ショップ「オーソレミオ」では各工房製品の販売と喫茶もあります。



(お仕事の様子)



【自治活動の柱は「利用者会」】

一週間の活動内容は製品づくりのほか、火曜日午後は運動プログラムを、水曜日午後は美術活動（グループ活動）を、木曜日午後は音楽活動（グループ活動）を、最終週の金曜日は誕生日会を行っています。

また、月1回「利用者会」を行っています。

「利用者会」は利用者の自治会活動の柱になっています。「利用者会」の役員は、「役員選挙」によって決めています。これは、東京都議会選挙や衆議院選挙で投票するための練習も兼ねています。



(投票による役員選挙)

【社会生活力の一環としての歯みがき講習会】

自治活動を大切にしているため、社会生活力で何を行うかは利用者会のみなさんが決めています。

この中で、昨年度は交通マナーや、三鷹市健康推進課の協力を得て、「歯みがき講習会」を行いました。歯科衛生士さんの手の動きに合わせて、利用者みんなで歯みがきをしました。



(歯みがき講習会風景)

「歯みがき講習会」は、歯の健康と元気に人生を送ることを考えていくためのきっかけ作りとして実施しました。そして、よく噛んで食べることは、食生活においてとても重要であるとの意識づけをしました。

歯みがき練習は基礎からということで、歯ブラシの持ち方からしっかり習いました。歯垢染め出しを行い、赤く染まった歯（歯垢）をきれいになるまで、一生懸命みがいていました。



(歯ブラシの持ち方を習っています)

【施設としての歯科の取組】

歯の健康については、施設として年1回定期的なメンテナンスで歯科検診を実施し、施設と家庭で連携し、課題を共有しています。法人の医務課看護師も職員と御家族と一緒に、利用者の健康管理をしています。かかりつけ歯科の有無状況も把握しており、ほとんどの利用者がかかりつけ歯科を持っています。歯科検診を担当している歯科医師は、地域の歯科診療所の先生で、施設のかかりつけ歯科医師として毎年担当してもらっています。

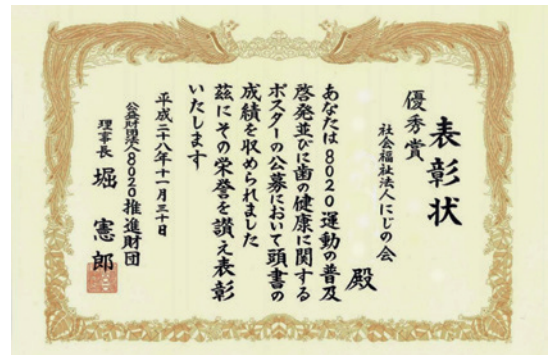
【8020運動への取組】

また、「健康な歯で長生きすることの大切さ」を意識づけることをねらい、美術活動として「8020運動」のポスター作成に取り組み、作品展に応募しました。



(利用者が描いた8020運動ポスター)

この活動においては、昨年度と今年度、2年続けて、公益財団法人8020推進財団より優秀賞をいただき、たいへん立派な表彰状と賞金をもらいました。このことは、利用者の歯科保健への意識向上につながっています。



(いただいた表彰状)

【日中活動での支援】

利用者の歯科保健への意識向上に合わせて、職員も支援をしています。昼食後の歯みがきでは、利用者の「歯みがき習慣」をサポートしています。自立した歯みがき習慣がつくように、サポートし過ぎないように見守りながら、ていねいにみがくように声かけをしています。



(歯みがきをサポートしています)

【最後に】

健康な歯は長寿の秘訣です。高い意識で取り組んでいます。これからも「健康な歯で元気におしごとを！」を心に、歯科保健活動に取り組んでいきたいと思ひます。

(記事作成：東京都多摩府中保健所)